

# 平成 28 年度 障害者相談支援事業所『すばる』事業報告書

## 1. 受け入れ実績

今年度も相談支援事業は、実際に利用するサービスも含めたサービス利用等計画書の作成とモニタリングを行う自立支援給付内の特定相談支援事業(計画相談)と、浜松市から委託を受けた障害者相談支援事業の2本立てで事業を行った。

平成 28 年度の受け入れ実績は、以下の通りである。

### ①特定相談支援事業(計画相談)

※計画書作成とモニタリング実施の請求数 (件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計画作成	17	4	12	10	7	5	9	12	9	14	10	10	119
モニタリング	35	37	41	36	28	40	25	37	34	28	30	32	403

### ②浜松市委託障害者相談支援事業

(1) 実施日数 262日

(2) 支援方法 <のべ数>

訪問相談	来所相談	同行支援	電話相談	電子メール相談	個別ケア会議	関係機関調整	その他	合計
352	44	136	920	46	60	989	7	2544

(3) 支援内容 <のべ数>

支援内容	件数	支援内容	件数
福祉サービスの利用に関する支援	488	家計、経済に関する支援	182
社会資源の活用に関する支援	351	生活技術に関する支援	48
障害や病状の理解に関する支援	49	就労に関する支援	96
健康・医療に関する支援	386	社会参加に関する支援	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	377	余暇活動に関する支援	0
保育・教育に関する支援	14	権利擁護に関する支援	47
家族関係・人間関係に関する支援	486	その他福祉に関する支援	30
		合 計	2554

(4) 障害別利用者 <実人数>

	知的	身体	精神	発達	重症心身	高次脳機能	難病	その他	計
障害者	37	16	51	2	1	0	1	4	94
障害児	0	0	0	0	0	0	0		0

## 2. 受け入れの状況

計画相談、委託相談とも、それぞれ専任1名・兼務1名、計3名の職員を配置して事業を実施した。

まず、計画相談については、件数としては前年度とほぼ同数であった。次に委託相談であるが、引き続き精神障害のケースやその家族からの相談が今年度も目立っていた。

委託相談については、障害を持つ本人だけではなく家族も貧困状態や精神的に何らかの障害がある場合も多く、加えて地域との関わりの面でも何らかの問題になっている場合もあるため、行政はじめ他の相談支援機関も同席した個別ケア会議や関係機関との調整の数が増加した。社会的にも障害者が絡む事件・事故等が報道されることが多くなっている背景もあり、地域での生活の継続にはそれなりの支援が求められている状況である。

住み慣れた地域での生活の継続のための環境整備を目的とした西区障害者自立支援連絡会の運営についても、積極的に関わってきた。毎月1回の事務局会議や事例検討会、全体会の企画・運営を担ってきた。